

先輩隊員からのメッセージ

これから応募される方の参考に、先輩隊員からのメッセージをまとめました。

●まずは地域活動に参加して交流を！

近所付き合いや地域の草刈りなど、地域の方とお付き合いや支えあいが特に大切ですので、地域の行事にはしっかりと参加しましょう。自分の場合は、町内会はもとより、消防団にも加入しています。台風などの災害があった場合には、遅くまで見回りへ行ったりと大変なところはありますが、消防団での活動を通じて広く人間関係を築くことができ、自分のことを地域の方に知っていただくことができました。

●当たり前のことをきっちりと！

道で会えばあいさつ、会議の時間には遅れない、期限は守る、年上の方には敬意を払うといった基本的なことが、田舎に限らないことですが、とても大切です。当たり前のことができないと信頼関係は築けませんし、自分のことを受け入れてもらうこともできません。

●自分のペースでコツコツと！

隊員が地域に入ればすぐに地域が活性化されるわけではありません。隊員への期待は受け止めながら、まずは地域にとけこむことからスタートし、自分のペースで、できることからやってみましょう。時には、できないことは、きっちりと説明したうえで「できない」というのも大事なことです。

●季節を身に染みて感じます。

北部山間地域は高原型の気候で、夏季は快適に過ごすことができますが、秋以降は京都府下でも寒さが厳しいエリアとなり、自然の厳しさを身をもって知ることとなります（冬はカメムシが家に侵入したり、水道やガス給湯器が凍結したり…）。とはいえ明確な四季を身体で感じ、それに一喜一憂するのもこの地域の魅力のひとつです。

●周りに若い人がいない…。困ったらまずは相談！

20代になかなか出会えず、最初は戸惑いましたが、都会にはない人間関係を楽しめます。娘や孫のように接してくださる方もおり、親戚・家族のような不思議な感覚です。悩みや疑問を話せる地域の父ちゃん、母ちゃん、じいちゃん、ばあちゃんを作ってみましょう。市職員さんや他の自治体の協力隊員などに率直に悩みを聞いてもらうことも大切です。

●なんやかんやいっても3年。楽しもう！

隊員活動は難しくもやりがいがあり、仕事を共にする市職員の皆さんと良い職場環境の下で楽しく仕事をしています。充実した任期を過ごすには、業務や地元行事など何でもやってみて下さい。きっと、自分を変えるきっかけが待っています。いつか思い返した時「ここで働いてよかった」と思える3年間を皆様にも過ごして頂きたいと思います。

私たちと一緒に頑張りましょう！